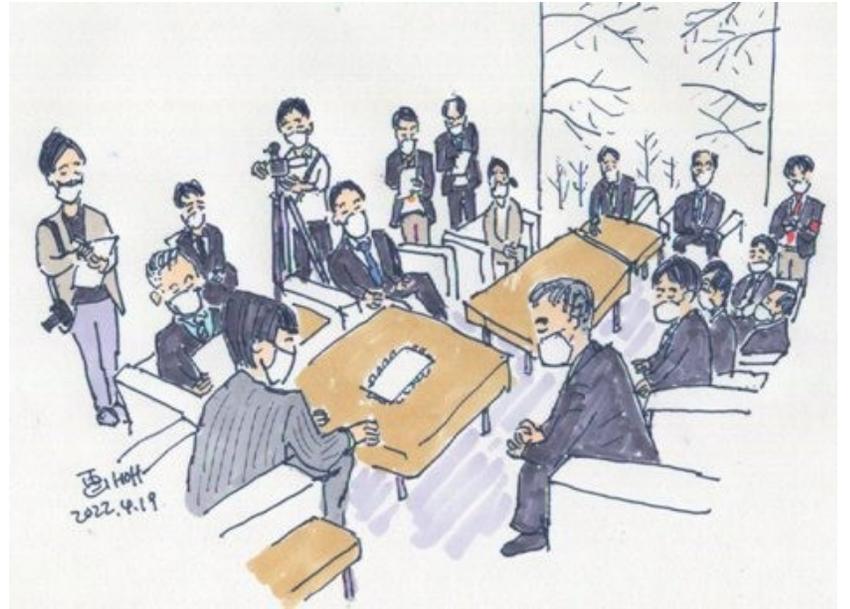


「事前了解権は必要」と中川市長が再度表明

柏崎刈羽原子力発電所30^号圏内UPZ研究会（代表関三郎見附市議）の幹部は19日、中川市長を表敬訪問しました。これには同研究会メンバーである上越市議も同席しました。

今回の市長訪問は、昨年秋に市長が中川幹太さんになったということでの表敬訪問です。関代表は、東京電力が柏崎刈羽原発を再稼働させる場合、同原発から30^号圏内の自治体から事前に了解を得る必要がある。そのことを明記した安全協定を関係自治体と東京電力は結ぶべきと、同研究会が運動していることを改めて説明し、若干の懇談をしました。

この席で中川市長は、「事前了解権は必要だと認識している」とのべました。同市長はすでに市議会でこの立場を表明していますが、今回のUPZ研究会の訪問で再度この立場を明らかにしました。同研究会の30^号圏内自治体訪問で、首長がはっきりと事前了解権は必要とのべたのは中川市長が初めてです。今後、これを契機に他の自治体でもこうした動きが出てほしいものです。



総合事務所、集約するならサービス向上が必要条件



については比較的すんなりとまとまりましたが、総合事務所の機能集約と機能分担については時間がかかりました。そもそも、私のように総合事務所の機能を柿崎、浦川原、板倉の3事務所に集約することに反対しているものの意見と賛成の意見を提言の中で一本化しようというのですから、当然です。

最終的な文言整理はまだあるかも知れませんが、この日、まとめられた提言では、「行政サービスがより充実し、かつスピードアップできるもの」を柿崎、浦川原、板倉の基幹総合事務所に集約すると書き、その後で、「産業建設グループの集約を含め、真に市民サービスに結びつく集約とは何か、検証かつ検討しなくてはならない」となりました。この結果、集約する場合は、「行政サービスがより充実し、かつスピードアップできるもの」かどうかの検討と納得のいく説明が必要となります。

市議会総務常任委員会は「地域自治・住民自治、地域協議会について」の所管事務調査を進めていますが、19日はその最終回でした。

この日は、総合事務所の課題とあり方について議論し、正副委員長がまとめた提言書案について協議しました。総合事務所長の権限強化や地域に寄り添い、住民に信頼される職員体制に

右のイラストは南米の音楽を楽しむ市内のグループ、「マリキータ」の演奏風景です。17日は、大潟コミュニティプラザで行われた、ピアスの「チャリティーライブ」で応援出演していました。



【ムシカリ】（再掲）スイカズラ科の落葉低木。漢字で「虫狩」と書きます。別名は「オオカメノキ」です。春に咲く木の花のなかで早い方です。特に白い花としてはコブシと並んで春を告げる花の1つです。花言葉は「歓迎」「友情」「愛らしさ」「友愛」です。写真は16日、吉川区町田にて撮影しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.2058 2022.4.25
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

QRコード
ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第七〇五回

鈴蘭水仙

三条市からKさんがときどき来ている実家を取り壊すそうだという話を聞いたのは高田城址公園のソメイヨシノの花がまだ少し残っている頃でした。

教えてくれたのはYさん。Kさんの実家がある吉川区米山（こめやま）にかつて住んでいた人です。「Kさんは実家を大事にしていたって、家の管理だけでなく近くの畑などもきれいにしていたんだけど、もうじき八〇歳になるし、通わんね、という判断したがるね」と残念そうでした。

Yさんは先日、吉川区源地域にある三大陸にだけ桜を観に出かけ、その帰り道に、米山に寄ったのでした。そのとき、Kさんが実家に来ておられたということです。いまは、家を取り壊す前の準備で、Kさんは、建物の中にある物の整理をされているのですが、Yさんは言いました。

「一番、時間がかかっているのは古い写真の整理だって。どれを残そうかと考えていると、あっという間に時間が過ぎていくんだよね」

じつは私も家の引っ越しなどで同じ体験をしたことがあります。

私の子ども頃の写真は近所のHさんや原之町の親戚の人などから撮ってもらった数枚しかありません。大量に写真が残るようになったのは、社会人になってからです。特にカメラを自分で持つようになってからのものが多い。何十枚、何百枚とありますから、どうでもいい写真がほとんどなのですが、それでも長年写真を撮っていると、大量の写真のなかに「これは宝物だ」と思えるものがあるものです。わが家の移築のときの写真などがその一つでした。

私はKさんの実家とはKさんのお父さんが健在だった頃から親しく付き合いをさせていただきました。私の父も生前、長年にわたり、お世話になってきました。

いま残っているKさんの実家の玄関に

は、貴重な記録写真が何枚か貼ってあります。Kさんの実家には、ひよっとしたら、私の父の写真や源の歴史の重要場面の写真もあるのではないかと……。そう思い始めたらじつとしていられませんでした。

翌日の午前、私は車を米山へと走らせました。運がよければ、Kさんと会えるかも知れない、そう思ったのです。公民館があるところまで行った所で、Kさんの車がないうことがわかりました。もちろん、Kさんの姿もありませんでした。

やはりダメだったかと思いましたが、目に入りませんでした。背丈、歩き方からして間違いなく、「いんきよ」（屋号）のお母さん、マサエさんです。車を止め、窓を開けると、「なーんだ、橋爪さんかね」とニコニコ顔です。

マサエさんは先日、九〇歳になったばかり。数年前にお連れ合いを亡くし、その後、ご自身も体調を崩し入院したものの、今は元気です。マサエさんは、お連れ合いが畑に植えたというゼンマイを左手に一本ほど持ちながら、Kさんのことなどを語りました。そして、言いました。

「この間、Kさんからセリをもらったの。池の中にとてもいいのがあったんだわ。家を壊しなければ、さみしくなるからね」

マサエさんと別れた後に、私はKさんの実家の玄関前に行きました。セリが採れたという小さな池や木戸先の花などをゆっくり見せてもらいました。

私の目にとまったのは鈴蘭水仙（すずらんすいせん・スノーフレック）です。先日、道之下でも出合った花ですが、白い花びらには緑色の斑点があり、清らかでとても美しい花です。花言葉は「皆を惹きつける魅力」。Kさんの実家にびたりの言葉です。長年お世話になったことを思い出し、感謝しながら、その場を離れました。

ニュースフラッシュ

「1年生になったら…」のパフォーマンス

この4月、市内の学校では入学式が行われました。私は8日、地元吉川中学校の入学式に行ってきました。

ここ数年、注目していることの1つは式典後に行われる教職員紹介。今年もH先生が、新入生のそばまで行進しながら、「1年生になったら…」を歌い、入学を祝い、部活動の誘いをされました。この熱烈歓迎には拍手をしたくなりましたね。すばらしい！



吉川区国田の真宗大谷派寺院、善徳寺の経堂とサクラです。

下のイラストは、17日に行われた尾神しだれ桜まつりの様子です。



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	4月13日(水)	4月20日(水)
上越南消防署	0.047	0.053
上越北消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.057	0.047
頸北消防署	0.043	0.040
頸南消防署	0.057	0.060
東頸消防署	0.040	0.043
名立分遣所	0.053	0.050
高士分遣所	0.053	0.047